

科目「SSH研究Ⅰ」のルーブリック

佐賀県立致遠館高等学校理数科第1学年（平成30年度 ver1.1）

資質・能力	3つの柱	観 点	学習到達レベル				授業や課外活動のどんな学習場面で身に付いたと思うか？ (自由記述)	自己評価 (S/A/B/C)	教員の評価 (S/A/B/C)
			S	A	B	C			
課題発見力	学び・人間性か等う	情報活用のための倫理	データ等の管理や引用・参考を示すことができ、研究の知的財産的価値を理解しようすることができる。	研究に必要なデータや著作物を管理でき、引用文献や参考文献を示すことができる。	研究に必要なデータや著作物を管理できるが、引用文献や参考文献を示すことができない。	研究に必要なデータや著作物を管理しようとすることができない。			
	知識・技能	自然科学・社会課題についての課題発見と研究計画の知識	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を与えられて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	課題発見や研究計画に必要な新しい知識を与えられて身に付けているが、課題発見に向けて活用できていない。			
		理科各分野の実験操作の基礎技能	理科各分野の実験に必要な新しい技能を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を与えられて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	理科各分野の実験に必要な新しい技能を与えられて身に付けているが、課題発見に向けて活用できていない。			
		情報活用のための知識	情報の活用に必要な新しい知識を主体的に身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を必要に応じて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を与えられて身に付けていて、課題発見に向けて活用している。	情報の活用に必要な新しい知識を与えられて身に付けているが、課題発見に向けて活用できていない。			
		情報インプット力 〔収集・分析・整理〕	研究に必要なデータや情報を収集・分析・整理でき、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集・分析でき、整理が不十分だが、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集でき、分析・整理が不十分だが、課題発見に向けて活用している。	研究に必要なデータや情報を収集できず、課題発見に向けて活用できていない。			
	思考表現・力判断力・	論理的思考力	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出し、その思考の限界をも理解している。	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出すことができる。	研究について、前提となる事柄から確実に言える結論を導き出すことができない。	研究について、前提となる事柄と考えられる結論を関連付けることができない。			
		計画力	研究について、複数の計画案から、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成し、研究方法や結果の影響を説明できる。	研究について、複数の計画案から一つを選択し、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成できる。	研究について、複数の計画案から一つを選択するが、論理的でモレや重複のない研究計画書を作成できない。	研究について、複数の計画案を考えず、一つだけの計画にこだわり、研究計画書を作成する。			

記載	年 月 日 ( )	研究分野 (1. 数学/2. 物理/3. 化学/4. 生物/5. 共創)	年 組 号	氏名
----	-----------	---	-------	----